

推薦入試

2018年度(平成30年度) 入試日程

学部		出願期間	試験会場	試験日	合格発表	入学手続期間
東京農業大学	農学部	平成29年 11月1日(水)～11月8日(水) WEB出願(最終日は入力15時まで 郵送は消印有効)	厚木キャンパス	平成29年 11月19日(日)	平成29年 11月24日(金) 13時	平成29年 11月24日(金)～12月8日(金) 郵送のみ(消印有効)
	応用生物科学部 生命科学部 地域環境科学部 国際食料情報学部		世田谷キャンパス			
	生物産業学部		北海道オホーツクキャンパス 世田谷キャンパス			

推薦入学者としての要件

農学部

農学科

- 1) 農業および関連産業に就く者。
 - 2) 農業指導者あるいは農学研究者。
 - 3) 生物学の素養を持ち、社会に貢献できる者。
- 本学科では上記のいずれかを目指し、その資質を備えた人物であることを要件とする。従って、上記の1)、2)、3)のいずれかを明記の上、推薦理由を記載すること。

動物科学科^{*1}(畜産学科より名称変更)

- 1) 動物の生命科学または生産科学領域を通じて社会への貢献を志す者。
 - 2) 動物関連産業の後継者、指導者ならびに技術者を志す者。
 - 3) 理科・農業の教員を志す者。
- 本学科では上記のいずれかを目指し、学習意欲旺盛な人物であることを推薦入学の要件とする。従って、上記の1)、2)、3)のいずれかを明記の上、推薦理由を記載すること。

生物資源開発学科^{*2}

- 1) 生命、生物多様性など、生物学の素養を持ち、社会に貢献しようとする人物。
 - 2) 生物多様性の保全ならびに野生の動植物の多様性解明、生物資源の管理・開発に積極的に取り組み、指導者ならびに技術者、研究者を志す人物。
 - 3) 農業および環境関連産業、教育普及分野で社会に貢献しようとする人物。
- 本学科では上記のいずれかを目指し、その資質を備え、主体性があり学習意欲旺盛な人物であることを推薦入学者の要件とする。従って、上記の1)、2)、3)のいずれかに該当するかを明記の上、推薦理由を記載すること。

デザイン農学科^{*2}

- 1) 食糧・環境・資源エネルギー等の社会的な課題に関心を持ち、その解決に貢献する意欲のある人物。
 - 2) 生産農学だけでなく、工学、医学、福祉、生活科学、ものづくり等の幅広い分野を含めて俯瞰的に学ぶ姿勢のある人物。
 - 3) 生物・生産物・農の機能性に関心を持ち、革新的な製品やシステムを開発する意欲のある人物。
- 本学科では、上記のいずれかの資質を備えた人物であることを要件とする。

応用生物科学部

農芸化学科^{*1}(生物応用化学科より名称変更)

- 1) 化学ならびに生物に強い関心を持ち、その評価に優れ、将来関連分野で活躍することを志す者。
 - 2) 関連産業の自営後継者。
 - 3) 関連産業の研究職、技術職または理科・農業系教員を志望する者。
- 上記のいずれかの要件を満たし、かつ学習意欲の旺盛な者で高等学校の課程のうち化学、生物を履修していることが望ましい。

醸造科学科

- 1) 醸造業、食品関連産業、微生物利用産業および環境保全関連産業の研究開発、指導者および技術者を志す者。
 - 2) 醸造業および食品関連産業の後継者。
- 上記のいずれかの要件を満たし、高等学校の課程のうち、生物、化学、英語などの教科に優れ、かつ学習意欲の旺盛な者。特に化学基礎および化学の履修者が望ましい。さらに、物理または生物のいずれかを履修していることが望ましい。

食品安全健康学科

- 1) 「食の安全・安心」と「食の機能と健康」に強い関心を持ち、将来、食の問題に対し自ら主体的に取り組み、エビデンスを基にして解決・発信する能力を備えた食品技術者、研究者、行政官、その他広範囲の関連分野の専門家として活躍することを志す者。
 - 2) 高等学校の課程のうち、化学、生物学および英語などに優れ、かつ学習意欲が旺盛な者。
- 上記の要件を共に満たす者。

栄養科学科

- 1) 農学と医学を基盤とした食品学、栄養学に興味を持ち、「管理栄養士」として社会に貢献したいという意欲がある者。
 - 2) 高等学校において、化学、生物学および英語等に優れ、学習意欲が旺盛な者。
- 上記の要件を満たす者。

生命科学部

バイオサイエンス学科

- 1) バイオサイエンスに強い関心を持ち、将来とも本分野を開拓し、社会に貢献しようとする強い意志を有する者。
 - 2) 高等学校の課程のうち、特に生物、化学、数学、英語などの教科に優れ、その資質を十分発展させ得る者。
- 上記のいずれかの要件を満たし、かつ学習意欲の旺盛な者。

分子生命化学科

- 1) 化学に強い関心を持ち、将来化学に関連する分野で研究者、技術者として社会に貢献する高い志を持つ者。
 - 2) 高等学校の課程のうち、化学および英語で優れた成績を修め、数学、物理および生物など幅広い学問領域に強い関心を持つ者。
- 上記の要件を共に満たす者。

分子微生物学科

- 1) 微生物および生命科学に強い関心を持ち、自己能力の向上ならびに社会貢献を志する強い意志を持つ者。
 - 2) 本分野および関連産業の自営後継者。
- 上記のいずれかの要件を満たし、高等学校の課程のうち、生物、化学、英語などの教科に優れ、かつ学習意欲が旺盛な者。

地域環境科学部

森林総合科学科

- 森林と人間生活との調和を図るための理論と応用を学ぶ強い意志と資質を有すると認められる者のうち、次のいずれかを満たす者。
- 1) 林業や林産業およびそれらの関連分野の後継者、指導者または現場技術者を志す者。
 - 2) 森林を中心とする自然環境の保全と再生に関わる分野の指導者または技術者を志す者。
 - 3) 森林・林業・林産業・農山村振興等に関する教育者・研究者を目指す者。
 - 4) 本学科における学習を基礎とした社会貢献をなし得る諸職への就業を目指す者。

生産環境工学科

本学科は、農業生産のための適切な環境を創造・維持し、同時に地域環境を保全するための技術および農業に必要な情報の活用やエネルギーの有効利用に関して学ぶ学科である。そのため本学科では、環境、エネルギー、エンジニアリングなどに強い関心を持ち、将来、国および地方公務員、地域の指導者、生産環境工学関連分野の優れた技術者、あるいは農業・理科・技術の教員などを志す者を対象とする。

*1 2018年4月 名称変更予定。 *2 仮称 2018年4月開設予定。届出書類提出中、収容定員増加認可申請中。内容は予定であり、変更する場合があります。

出願資格

- 1)平成30年3月高等学校(中等教育学校含む)卒業見込みの者および平成29年3月卒業の者。
また上記と同等と認められた者。(詳細は募集要項を確認)
 - 2)出身学校長が推薦する者。
 - 3)推薦入学者としての要件を満たしている者(下記参照)
 - 4)求められる学力を満たす者(右記参照)
- 上記4項目を全て満たす者に限ります。
出願は専願に限り、合格した場合入学することを前提とします。

選抜資格

- 1)書 類 調査書・推薦書
 - 2)小論文 60分 800字以内
 - 3)面 接 個人面接 5～15分程度
- 以上の3項目で総合的に評価します。

求められる学力

学 部		全体の評定平均値 (課程は問わない)
東京農業大学	農学部 応用生物科学部 生命科学部 地域環境科学部 国際食料情報学部	注)1 3.5 以上
	生物産業学部	注)2 3.3 以上

注)1 生物産業学部以外は、TOEICスコア450点以上の者は学力基準(高校の評定平均値)を3.2以上とする。
また、毎日農業記録賞優秀賞受賞者は高校の評定平均値を定めない。
注)2 生物産業学部においては、TOEICスコア450点以上の者は学力基準(高校の評定平均値)を3.0以上とする。
また、日本農業技術検定3級以上合格者および毎日農業記録賞優秀賞受賞者については学力基準を定めない。

造園科学科

本学科は、「環境」と「緑」の分野に挑戦するため、自然、緑、生きもの、環境、まちづくり、景観、公園、庭園、デザイン、生活、健康、文化、歴史への興味と、自然科学・社会科学・人文科学の知識を有し、人間と自然が共生した空間や環境を実現するための知識と論理的思考方法、コミュニケーション能力などの技術を備えた造園家、造園技術者(Landscape Architect)として地域社会へ貢献することを目指している人を求めています。次のいずれかを満たす者を対象とします。

- 1)本学科に強い関心を持ち、学習意欲が旺盛な者で、ランドスケープに関わる職能を通して、地域社会への貢献を志す者。
- 2)本学科に強い関心を持ち、ランドスケープコンサルタント業、造園建設業、公園施設業、造園樹木生産業など、ランドスケープ関連事業の後継者を志す者。

※推薦理由の記入にあたっては、上記の要件を満たしていることを明記してください。

地域創成科学科

本学科は、農業の振興に立脚した持続可能な地域づくりに強い関心を持ち、将来、地域社会の担い手・リーダーとして地域貢献を志す次のような人材を対象とする。

- 1)地域づくりに関連する専門知識や技術に対する学修意欲が旺盛な者。
- 2)持続可能な地域づくりに向けて、広い視野を持ち、他者と協力して積極的に行動できる者。

国際食料情報学部

国際農業開発学

アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどの開発途上国の農業発展および農村生活の向上に貢献しようとする強い熱意をもち、国際的な視野に立って活動を志す次のような人物を推薦の要件とする。

- 1)わが国政府、国際機関、民間団体などによる農業協力を目的とした現地開発プロジェクトの推進やその支援に携わることを目指す者。
- 2)国内外の食料生産への貢献を目的として、農業や農業関連産業に携わることを目指す者。
- 3)豊かな国際感覚と地球環境問題への深い理解に基づき、公務員、研究者あるいは教員として活躍することを目指す者。

食料環境経済学

本学科は、社会科学の手法を用いて「農業」、「食料」および「環境」を取り巻く課題を地域的・国民的視点、さらには国際的視点から究明し、もって「新たなフードシステムの構築」および自然と人間の共生を軸とした「持続的な循環型社会の構築」に資する人材を養成しています。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

1. 食料環境経済学を学ぶにあたり、文科系科目に対する興味・関心と基礎的な学力を有している。
2. 食べ物の生産・販売・消費や環境などに関心を持ち、地域社会や国際社会でのビジネスや公的分野、教育分野で活躍する意欲を有している。具体的には、大学で培った能力をもとに卒業後に以下のような分野において仕事をしたいと考えている。
 - 1)食料関連企業や農業において、経営者・幹部などとして活躍する。
 - 2)環境関連団体や企業の環境担当者などとして、環境保護のために活躍する。
 - 3)公務員や各種団体の職員などとして、国や地域の振興・発展のために活躍する。
 - 4)わが国の食料の安定供給のために、農産物・食料品の国際貿易や流通の現場で活躍する。
 - 5)本学科で得た知識をもとに、中学・高校の教員および司書、学芸員などとして活躍する。
 - 6)本学科で得た知識をさらに大学院などで極め、研究者として活躍する。
3. 食料・農業・環境に関わる現場での実習や演習を通じた学びに強い関心があり、共同で議論し研究する姿勢を有している。
4. 実社会に生じている新しい動きや問題点を見つけ出し、実証的・理論的に分析して自分の考えをまとめ、他者との議論を行うことができる。

国際バイオビジネス学科

本学科は、食料の生産、加工、流通等にかかわる企業の経営管理やマーケティング、情報処理などの知識と技術を身につけ、国内外を問わず、自営も含む農業・食品企業の中核となる人材の養成を教育目標としているため、以下のいずれかに該当することを推薦の要件とする。

- 1)農業・食品企業の経営者や管理者を志す者またはその後継者となる者。
- 2)農業・食料・食品に関連する事業へのかかわりを通して、国際社会や地域社会への発展に貢献する意欲を有している者。
- 3)食料の生産、加工、流通およびそれらの支援サービス等にかかわる企業の経営管理やマーケティング、情報処理等に関する分野の専門職を志す者。
- 4)高等学校で食料の生産、加工、流通等にかかわる専門課程を修め、当該分野について旺盛な学習意欲を有している者。

国際食農科学科

本学科では、食農教育を通じた伝統的な食農文化の継承や、新たな食農文化の創造により、地域社会の発展に貢献することに意欲を持ち、食と農に関わる自然・社会・人文といった広範な科学的知識の修得にとり組み、学んだ成果を発信し実践しようとする下記のような人材を求めている。

- 1)より付加価値の高い農産物等の食材の生産、加工、流通に貢献することを目指す者。
- 2)地域資源の活用をコーディネートし、多様な産業や活動を支援することを目指す者。
- 3)新たな食農文化を創造し、地域から世界に向けて展開・発信することを目指す者。

生物産業学部

北方圏農科学科^{※1}(生物生産学科より名称変更)

- 1)世界中・高緯度地帯における生物生産と自然環境にも関心を持ち、地域を支える生物産業および関連産業の後継者を目指す者。
- 2)北海道の大規模農業および自然環境保全管理に強い関心を持ち、生物科学や環境科学を基盤とする広い視野で知識を修得し、社会に貢献することを目指す者。
- 3)寒冷地における生物産業体験を通じて生物産業および関連産業の指導者、技術者を目指し、意欲的に地域の活性化をリードすることを目指す者。
- 4)生物生産の分野からグローバルに活躍する大志を抱き、世界の食料生産・自然環境保全等に貢献する志を有する者。

上記のいずれかで、学習意欲旺盛な人物であること。

海洋水産科学科^{※1}(アクアバイオ学科より名称変更)

- 1)水圏の生物産業および関連産業の後継者で、将来これら産業の指導者、技術者を目指している者。
- 2)水圏の科学とこれに関わる生物産業(環境-生産-加工-流通-消費)に強い関心を持ち、広くこの分野で社会に貢献しようとする者。

上記のいずれかの要件を満たし、本学科のアドミッションポリシーを理解し、修学する学力を十分に備えていると見込まれる人物であること。

食香粧化学科^{※1}(食品香粧学科より名称変更)

- 1)食品、香料および化粧品科学に強い関心を持ち、広くこの分野で社会に貢献しようとする者。
- 2)食品産業、香料産業、化粧品産業および関連産業の管理者、技術者を狙っている者。
- 3)食品、香料や化粧品の科学および製造に関する指導者を目指している者。
- 4)食品産業、香料産業、化粧品産業および関連産業の後継者。

上記のいずれかで、学習意欲旺盛な人物であること。

自然資源経営学科^{※1}(地域産業経営学科より名称変更)

- 1)自然資源を基礎とした地域経済の活性化を通じて、6次産業化や農商工連携による地域創成を目指す者。
- 2)自然資源を活かした地域経済を支える自治体などの公務員ならびに団体職員を目指す者。
- 3)将来、農林漁業、製造業、流通業などのリーダーとして社会に貢献したいという強い意志を持っている者。
- 4)生物産業の発展と自然環境の共生に関心を持ち、明確な問題意識と強い学習意欲を持っている者。

上記のいずれかで、学習意欲旺盛な人物であること。

自己推薦型

榎本武揚フロンティア入試

—冒険は最良の師である、来たれ北の挑戦者たち—

北海道オホーツクキャンパス(生物産業学部)では、東京農大の創立者である榎本武揚のチャレンジ精神やフロンティアスピリットに共感する学生を求め、[榎本武揚フロンティア入試]を実施しています。2018年度(平成30年度)入試では、[榎本武揚フロンティア入試]第3期生となる探求心旺盛な人物を募集します。グローバル化の進む現代社会において、国際的な視点を持ちつつ地域活性化の実現を目指したいと考える受験生の皆さん、近代の万能人とよばれた榎本武揚の精神を継承し、北海道の大地、北海道オホーツクキャンパスで新たな未知なる領域を開拓する学びを求めて、ぜひチャレンジしてください。

募集人員

制度	募集人員	スカラシップ
入試	生物産業学部全体で合計25名	Aランク(5名) : 入学金(27万円)+ 授業料半額(33万円)免除 Bランク(15名) : 入学金(27万円)免除

出願資格

下記の1)~4)のいずれも満たす者

- 1) 生物産業学部のアドミッションポリシー*をよく理解し、北海道オホーツクで学生生活を送ろうという強いフロンティア精神・チャレンジ精神を持つ者で生物産業学部を第一志望(専願)とする者。
- 2) 高等学校および中等教育学校を平成29年3月に卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者。
- 3) 北海道オホーツクキャンパスのオープンキャンパスあるいはキャンパスツアーに参加もしくは同キャンパスを個別訪問し、エントリーシートを入手した者。
- 4) 全体の評定平均値が課程を問わず3.3以上の者。出願は専願に限り、合格した場合入学することを前提とします。

※生物産業学部アドミッションポリシー

生物産業学部は、現代社会にとって不可欠な生物産業(生産-加工-流通・ビジネス)と自然環境の共生をテーマに、わが国有数の生物資源・自然資源を持つ北海道オホーツク地域という学びのフィールドと“冒険は最良の師である”という格言に基づく人間力の育成を重視した教育課程により、21世紀の持続的循環型社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本学部では、次のような学生を求めています。

- (1) フロンティア精神・チャレンジ精神を持ち、将来、地域や組織のリーダーとして社会に貢献したいという志を有している。
- (2) 生物産業(生産-加工-流通・ビジネス)およびこれらを統合した6次産業化を、実体験の中で学ぶことに強い関心がある。
- (3) 健全な人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有し、協働して課題解決にあたることができる。
- (4) 生物産業学を学ぶにあたり、各学科が求める基礎的学力と必要な知識を修得している。

応募から入学手続まで

行程	日程	詳細
エントリーシート配布期間	平成29年 7月29日(土)~9月1日(金)	7月29日(土)30日(日)北海道オホーツクオープンキャンパスにて配布開始。また、9月1日(金)まで、キャンパス訪問(要申込)した希望者に配布。
エントリーシート提出期間(検定料不要)	平成29年 8月21日(月)~9月1日(金)	【主な記載事項】(平成29年度参考) 志望学科、榎本武揚フロンティア入試の志望動機、冒険をしたエピソード、入学後に学びたい内容と卒業後の進路
書類選考合格発表	平成29年 9月8日(金)	エントリーシートに基づく書類選考、通過者は出願手続へ
出願期間(検定料支払)	平成29年 9月13日(水)~9月20日(水)	募集要項を元に、入学検定料を納入。志願票・調査書を提出
1次選考試験	平成29年 9月30日(土)	【試験会場】世田谷・北海道オホーツクキャンパス ・講義聴講後に小論文(講義45分・小論文60分800字以内)・グループディスカッション
1次選考試験合格発表	平成29年 10月5日(木)	第1次選考通過者は、第2次選考へ
2次選考試験	平成29年 10月14日(土)	【試験会場】世田谷・北海道オホーツクキャンパス ・プレゼンテーション(1人約10分程度)、個人面接
合格発表	平成29年 10月20日(金)	—
入学手続期間	平成29年 10月20日(金)~11月2日(木)	郵送のみ(消印有効)

自己推薦型

大自然に学ぶ北海道入試

入試日程

学部	出願期間	試験会場	試験日	合格発表	入学手続期間
生物産業学部	平成29年 11月17日(金)~11月29日(水) WEB出願(最終日は入力15時まで。郵送は消印有効)	世田谷キャンパス 北海道オホーツクキャンパス	平成29年 12月9日(土)	平成29年 12月15日(金) 13時	平成29年 12月15日(金)~12月22日(金) 郵送のみ(消印有効)

出願資格

- 1) 北海道オホーツクの豊かな生物自然資源の中で学び、自分の専門性を究め、強固な人間力を高めようとする強い志のある者。
- 2) 本学を第一志望(専願)として入学を強く希望し、かつ何事にも積極的にチャレンジする意欲旺盛な者。
- 3) 高等学校(中等教育学校含む)を平成29年3月に卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者[学力基準(評定平均値)は定めない]。

選抜資格

- 1) 書 類 調査書、自己推薦書
 - 2) 講義聴講後に小論文(講義45分・小論文60分800字以内)
 - 3) 面 接 個人面接10~15分程度
- 以上の3項目で総合的に評価します。

お問い合わせ/個別訪問申し込み等

東京農業大学北海道オホーツクキャンパス 入試課(TEL 0152-48-3814)

社会人入試・外国人入試・帰国子女入試

2018年度(平成30年度) 社会人入試

入試日程

学部	出願期間	試験日	試験会場	合格発表	入学手続期間
農学部	平成29年 10月31日(火) 11月7日(火) 郵送のみ (消印有効)	平成29年 11月19日(日)	厚木 キャンパス	平成29年 11月24日(金) 13時	平成29年 11月24日(金)
応用生物科学部			世田谷 キャンパス		
生命科学部					
地域環境科学部					
国際食料情報学部					
生物産業学部					

●募集要項は8月初旬発行予定。送料とも無料。郵送を希望する場合は、ホームページ(P151参照)または専用TEL 0120-558-509をご利用ください。

選考方法

書類・小論文(800字以内)・面接

募集人員

全学部・学科 若干名

受験資格

- ①大学入学資格を有する者。
 - ②各学科の推薦入学者としての要件を満たす者(P124~125参照)。
 - ③入学時(平成30年4月1日)に年齢満25歳以上の社会人(職業歴の有る者および家事従事者)。
- 上記①から③までの全ての条件を満たす者。

2018年度(平成30年度) 外国人入試・帰国子女入試

入試日程

学部	出願期間	試験日	試験会場	合格発表	入学手続期間
農学部	平成29年 10月27日(金) 11月8日(水) 郵送のみ (消印有効)	平成29年 12月2日(土)	厚木 キャンパス	平成29年 12月8日(金) 13時	平成29年 12月8日(金)
応用生物科学部			世田谷 キャンパス		
生命科学部					
地域環境科学部					
国際食料情報学部					
生物産業学部					

●入学試験問題集は5月、募集要項は9月初旬発行予定。いずれも送料とも無料。郵送を希望する場合は、ホームページ(P151参照)または専用TEL0120-558-509をご利用ください。

選考方法

大学:日本語(60分)・英語(60分)・面接

募集人員

全学部・学科 若干名

受験資格

外国人入試

次の①から③のいずれかに該当する者。

- ①外国籍であって、外国において通常の課程による12年の学校教育を修了または平成30年3月31日までに修了見込みの者。
- ②外国籍であって、文部科学大臣が指定した海外における教育施設を卒業または平成30年3月31日までに卒業見込みの者。
- ③外国籍であって、外国に在住し、かつ相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。

帰国子女入試

日本国籍を有する者で、海外において外国の教育課程に基づく高等学校に最終学年を含めて2年以上継続して在籍し、通常の課程による12年の学校教育を修了(修了後2年以内)または平成30年3月31日までに修了見込みの者。

2017年度(平成29年度) 入試結果

学部	学科	社会人入試		外国人入試		帰国子女入試	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
農学部	農学科	0	0	2	2	0	0
	畜産学科	1	0	1	1	1	1
応用生物科学部	生物応用化学科	0	0	2	0	1	1
	醸造科学科	2	0	1	0	0	0
	食品安全健康学科	0	0	4	1	1	1
	栄養科学科	4	0	1	0	0	0
生命科学部	バイオサイエンス学科	0	0	6	3	4	1
	分子生命化学科	0	0	1	1	0	0
	分子微生物学科	0	0	1	0	0	0
地域環境科学部	森林総合科学科	0	0	1	0	0	0
	生産環境工学科	0	0	0	0	0	0
	造園科学科	2	0	1	1	0	0
国際食料情報学部	地域創成科学科	1	0	0	0	1	1
	国際農業開発学科	0	0	2	0	0	0
	食料環境経済学科	0	0	0	0	0	0
	国際バイオビジネス学科	0	0	10	3	0	0
生物産業学部	国際食農科学科	1	1	2	2	1	0
	生物生産学科	0	0	2	2	0	0
	アкваバイオ学科	0	0	0	0	0	0
	食品香粧学科	0	0	0	0	0	0
地域産業経営学科	0	0	0	0	0	0	
総合計		11	1	37	16	9	5

社会人入試の小論文について教えてください。

小論文は60分800字以内でおこないます。過去の出題テーマは公表していませんが、各学科の研究内容を問うようなものが多く出題されています。P126の推薦入試小論文テーマと似たような内容で出題されていることも多いので、参考にしてください。

Q&A